

プロトコール名 タキソテール 単剤療法

- 進行・再発癌     
  術後補助化学療法     
  術前補助化学療法  
 大量化学療法     
  局所療法     
  その他(      )

| 投与順 | 抗癌剤名(商品名・略号)       | 1日投与量               | 投与方法 | 投与時間 | 投与日(d1, d8等) |
|-----|--------------------|---------------------|------|------|--------------|
| 1   | ドセタキセル(タキソテール・DOC) | 75mg/m <sup>2</sup> | div  | 1時間  | d1           |
| 2   |                    |                     |      |      |              |

|                      |  |
|----------------------|--|
| 1コース期間 (次コースまでの標準期間) | 3週間(1投2休)                                |
| 総コース数                | 1コース以上                                   |
| コース間での休薬の規定          | 好中球数が2,000/mm <sup>3</sup> 未満の時は回復するまで延期 |

|                        |  |
|------------------------|--|
| 減量規定・中止基準              | (2回目以降)<br>※Grade4の好中球減少又は、Grade3以上の非血液毒性時は回復後2割減量<br>Grade3以上の白血球数減少が有り、発熱がある時は中止する |
| 投与量の増量規定               | なし   |
| 投与期間の短縮規定              | なし   |
| コースによる変化               | なし   |
| 1日の中での抗癌剤投与順           | なし   |
| プレメディケーション・ポストメディケーション | プレメディケーション<br>カイトリル3mg    デカドロン8mg   |

患者条件

※CTCAE v3.0

- ・70才以下    ・PS 0~2    ・白血球 $\geq 4,000 /\text{mm}^3$
- ・好中球数 $\geq 2,000/\text{mm}^3$     ・血小板 $\geq 10万/\text{mm}^3$     ・ヘモグロビン $\geq 8\text{g/dL}$
- ・AST、ALT<施設正常値上限の1.5倍    ・総ビリルビン<施設正常値上限
- ・クレアチニン<2.0mg/dL

除外規定

禁忌(次の患者には投与しないこと)

- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・感染症を合併している患者
- ・発熱を有し感染症の疑われる患者
- ・本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

実施上の注意点

○タキソテール

- ・浮腫の発現率及び重篤度が高く、これをおさえるため、コルチコステロイド経口剤による前投与が行われている。前投与としては、デキサメタゾン等のコルチコステロイドを、本剤の投与前日から3日間、単独経口投与することが望ましいとされている。